

夕映えの情景

色彩豊かに、趣き深く移ろう
心打つ情景が織り上げられます

[チェロ]

アラン・ムニエ



Alain Meunier

[ピアノ]

上田 晴子



Haruko Ueda

プログラム

エセル・スマイス：チェロとピアノのためのソナタ イ短調 作品5
Ethel Smyth : Sonata for Cello and Piano in A minor, Op.5

ガブリエル・フォーレ：チェロとピアノのためのソナタ第2番 ト短調 作品117
Gabriel Fauré : Sonate pour violoncelle et piano n° 2 en sol mineur, Op. 117

ヨハネス・ブラームス：チェロとピアノのためのソナタ第1番 ホ短調 作品38
Johannes Brahms : Sonate für Klavier und Violoncello Nr.1 in e-Moll, Op.38

2024'

10月31日 (木)

午後3時開演 2時30分開場

5000 円(全自由席)

【お問合せ/チケット取扱い】

スピカ ☎03-3978-6548

✉spica@sepia.ocn.ne.jp

ヒルサイドプラザ

代官山ヒルサイドテラス内
渋谷区猿楽町29-10 (入口は駐車場奥)

- ・東急東横線「代官山」駅より徒歩5分
- ・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅より徒歩7分
- ・JR山手線・埼京線「恵比寿」駅より徒歩10分



アラン・ムニエ Alain Meunier (チェロ)



1942年、パリに生まれる。7歳からチェロを始め、13歳でパリ国立高等音楽院に入学、15歳で室内楽のプリミエ・プリ(最高位)、16歳でチェロのプリミエ・プリを獲得するなど、早くから才能を開花させる。

18歳で突如、演奏活動を停止し、音楽美学や音楽学などを学ぶ。その後、22歳で再びチェロを手にし、決意も新たにイタリア・シエナのキジアーナ音楽院に入学し、再びチェロと室内楽の研鑽を積む。

同音楽院卒業後、「ピアノクインテット・キジアーナ」のメンバーとして活動を開始。以来、ソリスト並びに室内楽奏者として世界各地で演奏活動を展開する。リヨン国立高等音楽院、パリ国立高等音楽院の教授を歴任。また、ボルドー国際弦楽四重奏コンクールの実行委員長、ナポリ音楽フェスティバルの音楽監督、日本で開催されたカサド・コンクール審査員長をはじめ多くの国際コンクールの審査員を務め、音楽家からの信望も厚い。

「バッハ：無伴奏チェロ組曲全集」をはじめソロと室内楽のCDが数多くリリースされ、いずれも高く評価されている。

現在、演奏活動に加え、イモラ・アカデミー(イタリア)での指導、オーブラック音楽祭主催など活発な活動を展開している。

上田 晴子 Haruko Ueda (ピアノ)



東京藝術大学卒業、同大学院修了後、ロータリー財団奨学生として渡仏し、パリ・ヨーロッパ音楽院卒業。1986年ロン・ティボーコンクール入賞、1995年日本国際ヴァイオリンコンクール最優秀伴奏者賞など受賞。ソリスト、室内楽奏者として日欧で演奏活動を行う。ヴァイオリンのJ.J.カントロフ、P. ヴェルニコフ、O. シャルリエ、千々岩英一、小林美恵、玉井菜採、A・デュメイ、ヴィオラのB.パスキエ、チェロの堤剛、笹沼樹、クラリネットのM・アリニョン等、名だたる演奏家と共演を重ねる。

CDは日本とフランスのレーベルから、カントロフと「プロコフィエフ、シュトラウス・ヴァイオリンソナタ集」、「ドホナニ、エネスコ・ヴァイオリンソナタ集」、「エネスコ、ブゾーニ・ヴァイオリン作品集」「ベートーヴェン・ヴァイオリンソナタ全曲集 vol. 1~3」他、アリニョンと「アリニョンの至芸」、L・カンタと「メロディーズ」、千々岩英一と「ポエム」、郷古廉と「ブラームスソナタ」など多数リリースされ、音楽誌より高く評価されている。

2019年、姫路市文化芸術賞受賞。2020年に音楽之友社より「室内楽レッスン」刊行。

現在、パリ国立高等音楽院室内楽科教授、ピアノ科准教授。



スピカはおとめ座の一等星、ラテン語で“麦の穂”を意味します。

‘気軽に足を運び、心から楽しめるコンサート’を目指し、スピカは1990年に手作りコンサート活動をスタートしました。

踏まれても踏まれても伸びていく麦、
頭を垂れずまっすぐに天に向かって伸びていく麦の穂のようでありたいと願っています。